

○事業所名	こどもサークル上幡木（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。	定期的に面談等を行い、適切に助言を行っている。	助言した内容のフィードバックや更なる専門的な支援の内容の提案などを行っていく。
2	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われている。	子どもに関する情報や支援に関して訪問先との情報共有を密に行っている。	子どもに関してのみに留まらず、保護者や家庭の状況等も関係施設と共有できるようにしていく。
3	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができている。	保護者との関係性を築き、相談しやすいよう心掛けている。	後追いの支援にならないよう常に対象の子どもの最新の情報を持っておくようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に使用する教具教材について、更なる工夫が行える余地がある。	教材教具用いる狙いや結果の共有が不十分である可能性がある。	子どもの年齢や特性に合わせた教材教具を用意し、それらの意図の説明や実施後のフィードバックを丁寧に行っていく必要がある。
2			
3			